

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
リハビリテーション医学		必修	1	2	後期 (後半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山本 泰宏	C304	yasuhiro_yamamoto	水曜日 9 : 00~12 : 00		
授業の目的・概要	<p>目的：リハビリテーション医学の全体像を理解し、評価学、治療学の基礎的知識を学ぶ。 概要：まず障害について学び、なぜ障害を克服するのかその基本的思想を学ぶ。次に障害を克服する方法の流れが決して特殊なものではなく、社会の一般的考え方に従っているものであることを学ぶ。最後に授業内容からリハビリテーション医学の定義と理念を再度考察する。 授業は対面式で行う。</p>				
学習上の助言	<p>具体的な治療技術を学ぶ以前の重要な知識と考え方を学ぶ授業であるので、評価は厳しく行う。教科書を指定しないので、講義をよく聞いて授業中に疑問点を質問して解決すること。</p>				
教科書	指定しない。				
参考書	必要に応じて授業中に紹介する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	リハビリテーション医学の成り立ちを説明できる。	HSU (1)、(2)、PT (1)、(2)、(3)、OT (1)、(2)			
②	障害を科学的視点で説明できる。	HSU (1)、(2)、PT (2)、(3)、OT (1)、(2)			
③	ADL と QOL について説明できる。	HSU (3)、PT (3)、OT (2)			
④	リハビリテーション医学の構造を説明できる。	HSU (2)、PT (3)、(4)、OT (2)、(3)			
⑤	リハビリテーション医学の過程を説明できる。	HSU (2)、(5)、PT (2)、(3)、(4)、OT (2)、(3)			
⑥	リハビリテーション医学の定義と範囲を説明できる。	HSU (2)、(3)、PT (1)、(2)、(3)、(4)、OT (1)、(2)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション。リハビリテーションの定義、理念、歴史を学ぶ。	講義 (対面式)	リハビリテーションの定義、理念、歴史、障害の概要を復習する。	4	
2	障害とは何か学ぶ。第 1 回授業で学んだ障害をさらに深く、理論的に理解する。	講義 (対面式)	障害とは何か復習する。ICIDH と ICF を復習する。	4	
3	第 2 回授業で学んだ客観的障害に加え主観的障害を学ぶ。	講義 (対面式)	主観としての障害の構造とそれを克服する要素と、その克服を阻害する要素を復習する。	4	
4	障害の程度を理解するために ADL と QOL について学ぶ。	講義 (対面式)	ADL と QOL の内容と、相互の関係を復習する。	4	
5	障害者に対する社会の取り組みを学ぶ。	講義 (対面式)	社会が障害者に対してどのような取り組みを行っているのか、そのための法整備の内容を復習する。	4	
6	リハビリテーションの全体像 (医学的、福祉的、社会的側面) を学ぶ。	講義 (対面式)	リハビリテーションに様々な巨視的段階があることと、その内容を復習する。	4	
7	医学的リハビリテーションの方法論が一般的課題解決方法の応用であることを学ぶ。	講義 (対面式)	一般的課題解決方法がどのようにリハビリテーションの方法に関連付けられるか復習する。	4	
8	これまでの講義内容を踏まえ、リハビリテーション医学とは何か、その理念を考える。	講義 (対面式)	7 回の講義内容を統合して、リハビリテーション医学の定義と理念を復習する。	4	
試	試験	/			

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義内容の理解度を筆記試験で評価する。学習上の助言にも記載したように、具体的な治療技術を学ぶ以前に必要な医療従事者として必要不可欠な知識の講義であるので、評価は厳密に行う。				正解を公開する。答案を返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎山本泰宏</p> <p>教員の実務経験： 整形外科医として 30 年以上リハビリテーション医学に係っている。</p> <p>実践的授業の内容： 教員の経験に基づいた症例紹介などを講義の中に組み入れ、学生が理解しやすいように工夫する。</p> <p>対面授業で行うが、今後の新型コロナウイルス感染症流行の状態によっては授業方法、授業内容、シラバスを変更する可能性がある。その場合には事前に告知する。</p> <p>大学が通知している感染対策を順守して出席すること。感染対策を実行するための教員の指示に従わない場合は退出を命じることがある。</p>							